第６回漢方教室（漢方）

女性の悩みは漢方で－漢方薬で血の巡りを改善する－

Ⅰ．女性に出現しやすい症状

長野県旧長谷村（伊那市長谷地区）でのフィールド調査
調査実施日：平成 14 年 11 月
有効回答者数：1,199 名（有効回収率：80.7%）

1　出現に性差がある症状

〇女性に多い症状

膝関節痛／物忘れ／寒がり／イライラする／不眠／
むくみがち／目が疲れやすい／頭痛／冷えのぼせ／
のぼせ・ほてり／肩こり／皮膚の乾燥／便秘がち／
物事に驚きやすい／腰や手足の冷え／冷え性

〇男性に多い症状

尿量が多い／食後の眠気・だるさ／のどの渇き／寝汗をかきやすい／
夜のトイレが多い／下痢しやすい／咳や痰がよく出る／尿の出が悪い

2　出現に年齢差がある症状（女性の場合）

〇若年女性に多く出現する症状

頭痛／下痢しやすい／冷え性／腹痛／疲れやすい・だるい／便秘がち／
むくみがち／腰や手足の冷え／歯茎から血が出る／肩こり／痔がある／
寒がり／低血圧／めまい／皮膚の乾燥／朝起きられない／イライラする／
怒りっぽい

〇高齢女性に多く出現する症状

手掌足底のほてり／食べ物の味が変だ／腰痛／足腰のだるさ／のどの乾き／
耳鳴り／視力低下／尿の出が悪い／不眠／手足がつる／夜のトイレが多い／
白髪や抜け毛が多い／膝関節痛／物忘れ

Ⅱ．漢方における性差医療

婦人ノ病、外感内傷共ニ男子ノ病ニ不異。只、月經アルヲ以テ、其品、種々ニ別アリ。婦人ノ病ヲ治セハ、先ツ月經ノ事ヲ能ク問テ、治ヲ施スベキ也。

香月牛山（1656-1740）『牛山先生活套』（巻之下）

Ⅲ．気血水の理論

1　人体を巡る３つの要素

気：生命活動を営む根源的エネルギー
血：生体を物質的に支える赤色の液体
水：生体を物質的に支える無色の液体

健康な身体では、気血水の３つの要素が過不足なく、滞ることなく人体を巡っている
気血水のいずれかに過不足や滞りが生じると、さまざまな心身の症状となって現れる

2　気血水の失調と病気

	漢方的病態	臨 床 症 状
気	気虚（ききょ）	疲れやすい／だるい／寝汗
	気鬱（きうつ）	咽がつまる感じがする／息苦しい／抑うつ／不安感／不眠
	気逆（きぎゃく）	イライラする／のぼせる／顔面紅潮
血	血虚（けっきょ）	貧血／皮膚枯燥（カサカサ）
	瘀血（おけつ）	月経異常／月経関連症状／あざ／痔
水	水毒（すいどく）	口渇／尿量異常／発汗異常／浮腫／めまい／頭痛（雨の前日）

Ⅳ．女性の病気の特徴（瘀血）

1　瘀血とは何か

・血の流れがスムーズに行かず、途中で停滞したり途絶えたりしてしまう
・停滞した血（瘀血）は血の役割を果たさずに、かえって有害なものとなる
・女性では月経の障害時に見られることが多い

2　瘀血と考えられる症状

◎女性、月経に関するもの

・月経異常（月経不順、無月経、過多月経、寡少月経、月経困難など）
・不妊、流産癖、帯下など
・月経周期に一致した異常（月経前緊張症、にきびなど）
・下腹部膨満感（自覚症状）、下腹部痛

〇血液、血管に関するもの

・出血傾向（下血、子宮出血、鼻出血、歯ぐき出血、皮下粘膜下出血など）
・皮膚粘膜のうっ血／暗紫色化
・毛細血管拡張（細絡）
・舌下静脈怒張
・痔疾

○皮膚、粘膜に関するもの
・皮下出血（あざができやすい体質、打撲など）
・皮膚がくすんで浅黒い、さめ膚
・目のくま
・舌、口唇、歯肉などの紫～暗赤色化
◎腹証
・下腹部の抵抗と圧痛：小腹鞕満（しょうふくこうまん）
・下腹部全体の腹壁が硬く膨隆気味

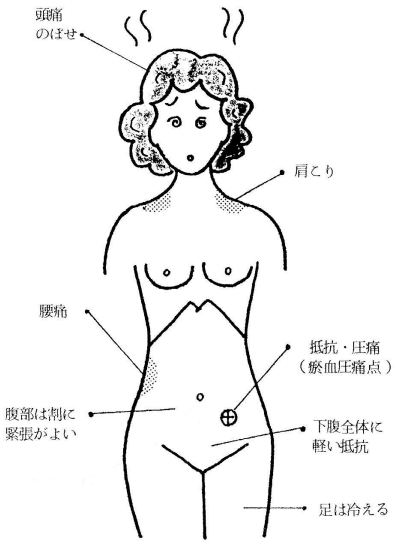
3　瘀血を改善する生薬と代表的処方
〈実証～中間証〉
桃仁、牡丹皮、大黄、芍薬、紅花など
水蛭、虻虫、しゃ虫などの動物性生薬（陳旧性瘀血に用いる）
桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）、加味逍遥散（かみしょうようさん）、桃核承気湯（とうかくじょうきとう）、
大黄牡丹皮湯（だうおうぼたんぴとう）、通導散（つうどうさん）など
〈虚証〉
当帰、川芎など（温性駆瘀血剤）
当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）、温経湯（うんけいとう）、四物湯（しもつとう）、
芎帰膠艾湯（きゅうききょうがいとう）など

Ⅳ．漢方治療の実際

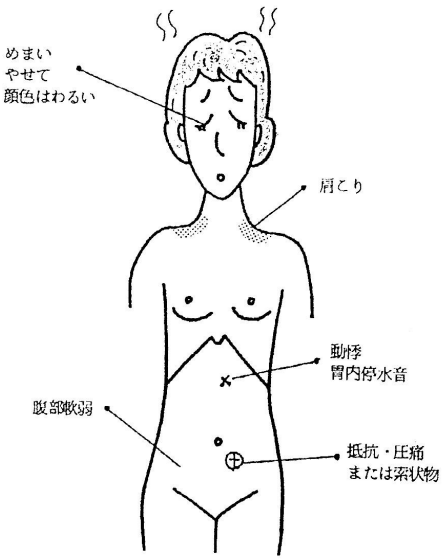
1　瘀血症状（月経痛、月経不順、月経前緊張症、月経周期に一致した症状）
1）女性の 3 大処方

	桂枝茯苓丸	当帰芍薬散	加味逍遥散
イメージ	赤ら顔でがっしりした女性	色白で細身の美人	訴えの多い中年女性
体格	がっしりタイプ	華奢で弱々しい	やや華奢な感じ
年齢	さまざま	若年	中年（更年期）
顔色	赤い	蒼白い	一定しない
のぼせ	冷えのぼせ	ない	発作性のぼせ
冷え	冷えのぼせ	強い	あり
自律神経症状	多少ある	あまりない	多彩で移り変わる
下腹部圧痛	強い	あまりない	中間
胃腸	丈夫	比較的虚弱	
月経：周期	早い傾向	遅れる傾向	遅れる傾向
量	多い／血塊あり／色が濃い	少ない／色が薄い	
痛み	月経発来前から1～2日目	期間全体に鈍痛	
		月経終了近くに増悪	
その他		むくみ／めまい	不眠／イライラ

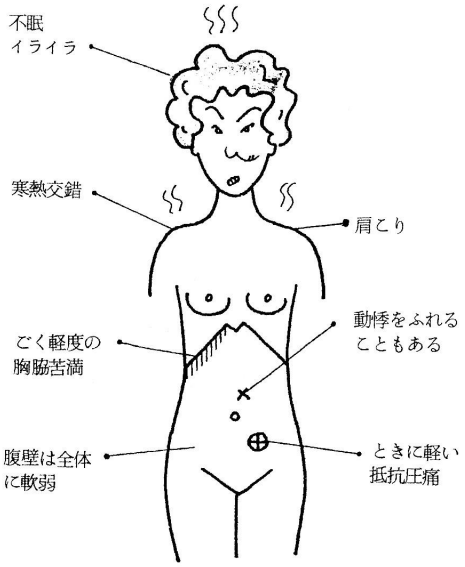
桂枝茯苓丸[25]
(けいしぶくりょうがん)



当帰芍薬散[23]
(とうきしゃくやくさん)



加味逍遥散[24]
(かみしょうようさん)



高山宏世『漢方常用處方解説』より引用

2）その他の処方

①**温経湯**[106] (うんけいとう)
　口唇乾燥／手掌煩熱（ほてり）／下腹部の冷え（触れると冷たい）

②**当帰建中湯**[123] (とうきけんちゅうとう)
　虚弱な体格／胃腸虚弱／月経時に下痢、便秘、腹痛をおこす／冷え性

③**当帰四逆加呉茱萸生姜湯**[38] (とうきしぎゃくかごしゅゆしょうきょうとう)
　手足の強い冷え／しもやけ／冷えると腹痛をおこす

④**桃核承気湯**[61] (とうかくじょうきとう)
　便秘／のぼせ／月経に一致した精神症状（興奮や抑鬱など）

⑤**抑肝散**[54] (よくかんさん)
　攻撃的性格（いらいら・怒りっぽい）／顔面痙攣・チック／動悸／不眠

⑥**女神散**[67] (にょしんさん)
　更年期症状（のぼせ・めまいが訴えの中心）／比較的がっしりした体格

⑦**芎帰膠艾湯**[77] (きゅうききょうがいとう)
　虚弱な体格／月経が長引く／冷え症

2　冷え

1）末梢循環不全（瘀血）によるもの
　当帰、川芎などを含む処方
　　当帰芍薬散 (とうきしゃくやくさん)、**当帰四逆加呉茱萸生姜湯** (とうきしぎゃくかごしゅゆしょうきょうとう)
　　など

２）新陳代謝の低下によるもの

附子を含む処方

八味地黄丸（はちみじおうがん）、**真武湯**（しんぶとう）など

３）胃腸虚弱に伴って出現するもの

人参、乾姜などを含む処方

大建中湯（だいけんちゅうとう）、**人参湯**（にんじんとう）など

４）頭痛に伴うもの

呉茱萸を含む処方

呉茱萸湯（ごしゅゆとう）など